

観光客の滞在時間と場所の分散化の促進等に資する仕組みの実現

| | | | |
|-----------------------------|---|----------------|--------------------------------------|
| 請負者 | 株式会社十六総合研究所 | 分野 | 観光 |
| 実証地域 | 岐阜県大野郡白川村 | コンソーシアム | (株)十六総合研究所、(株)NTTドコモ、白川村、(一社)白川郷観光協会 |
| 地域課題等 | 担い手不足に悩む地域における住民と観光客の満足度と安全を両立させる持続可能な観光の実現 | | |
| 実証概要 | 課題実証：旅行の時間軸（旅マエ・旅ナカ・旅アト）や観光客の位置情報に応じた高精細なライブ映像や4K動画等をPUSH配信に関する実証 技術実証：ローカル5Gを想定した電波伝搬特性評価を実施し基地局カバーエリア・エリア端を把握すると共に、ローカル5Gとキャリア5Gの準同期運用を含めた共用検討等を実施 | | |
| ローカル5G等 (周波数・特長) | 周波数：4.7GHz帯 構成：NSA構成 利用環境：屋外（観光地） | | |

観光客はガイドアプリ搭載スマホを持って周遊

映像コンテンツ配信サーバ

※本事業はキャリア5Gにより評価



本実証では、旅マエ（せせらぎ公園駐車場等に到着し、街歩きを開始する前）、旅ナカ（世界遺産エリア街歩き）、旅アト（街歩きを終え、駐車場に戻った際）と定義。